



かごしまの地域を元気に! /

共生・協働の地域社会づくり

枕崎市

枕崎市生活学校

枕崎の川を守りたい 私たちにできることから



郷土料理やお菓子づくり教室

「みんなに会える、毎回の集まりがとても楽しみ」と日頃の活動を紹介してくれるのは枕崎市生活学校の皆さん。

枕崎市生活学校は、県内各地に35ある生活学校の一つで、昭和43年に発足し、現在、会員43人です。

主婦の目線で身近な生活課題の解決を目的に、郷土料理教室やレジ袋を減らすマイバッグ運動、EM菌を使った生ゴミ減量や家庭排水の浄化など環境保全活動に取り組んでいます。

同学校は5年ほど前に「カツオで有名な枕崎の海と川をきれいにしよう」との思いから、河川の浄化を活動の中心に掲げました。

活動では、地元でEM菌を活用して環境保全に取り組む栗野親義さんと連携し、河川の底に溜まったヘドロを分解して水質を浄化させる効果のあるEM菌を川底に定着させるため、EM菌を混ぜた土だんごを作り、河川に投入することから始めました。

しかし、市内の河川すべてをきれいにするためには、年間約3万個のEM菌土だんごが必要であり、とても自分たちだけでは、人手が足りませんでした。

そこで考えたのが地域の学校との連携です。枕崎市内の小・中学校で環境教育の一環として取り組んでもらえるよう教育委員会や学校へ足しげく相談に行きました。その結果、平成18年度から枕崎小学校で最初の取り組みが始まり、平成20年度には、市内9つのすべての小・中学校で取り組まれるようになりました。

また、市の事業として平成19年度から「市民協働で行う河川環境浄化プロジェクト」も始まり、市内全域での取り組みに発展しています。

「以前は見えなかった川底が、最近は見えるようになってきました。みんなで取り組むことが大きな力となりますね」と成果を喜ぶ会長の米倉輝子さん。

もう一つの大きな成果として、枕崎小学校6年生による、EM菌による水質浄化の環境学習の取り組みをまとめた新聞が、「環境かべ新聞コンテスト(全国版)」で優秀賞に選ばれ、平成20年3月に北海道洞爺湖で行われた「子ども環境サミット」で表彰されました。一緒に取り組んだ生活学校の皆さんにとっても、とてもうれしい受賞でした。

県生活学校運動連絡会会長の西迫雅子さんも「一つ一つの生活学校の活動は小さなものですが、これからはさまざまな団体と連携し、その活動を広げていくことが大切。枕崎市生活学校の活動を手本としたいすね」とエールを送ります。



マイバッグ運動の呼びかけ

枕崎市生活学校の取り組みは、地域課題をみんなで連携・協力して解決するものとして期待されています。

米倉会長からひとこと

カツオのまち枕崎がみんなに愛されるように、いろいろな方と連携した活動の輪がもっと広がれば良いと思います。これからも私たちにできることを、楽しみながら、活動していきます。



南薩地域地場産業センターで販売している「EMぼかし」を持つ米倉輝子会長



優秀賞を受賞した枕崎小学校のかべ新聞
枕崎市の牧園川での取り組みの様子

共生・協働の地域社会づくりやNPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階)

☎099-286-2241

◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) ☎099-221-6613

関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。